＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	子ども家庭課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	子ども・若者支援プログラム
施策名	【重点】子どもと家族を見守り支える地域づくり

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	こども家庭センターの設置市町村数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	13	16	19	22
現況値	―	実績値	18			
目標値	22市町村	達成率（%）	138.5			
備考		達成度	5			

3 関連する事業名

・市町村こども家庭センターサポート事業

4 施策達成レベル

5.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

モデル市町村について、こども家庭センターの設置や運営を専門家チームとともに支援することで、市町村がこども家庭センターの機能をより充実させ、子どもたちに届く支援を考えることに寄与することができた。報告会において、こども家庭センターの取り組みを共有することで、更なるこども福祉の充実を支援することができたとともに、子ども中心という岡山県の理念についても改めて考える事業となった。

6 今後の施策推進に向けての課題

市町村にとっては、研修の数が増え、また、実務の分量は変わらないため、落ち着いて事業を実施することができないという声が聴かれる。職員の質を高めるとともに、市町村や県の子どもにかかわる部署全体が効果的な支援を行うことができるよう、体制を整備していくことが必要である。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	子ども家庭課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	子ども・若者支援プログラム
施策名	【重点】困難な状況にある子ども・若者への支援

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	中途退学者等への自立支援を通じた進路決定者数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	400	450	500	550
現況値	302人	実績値	408			
目標値	550人	達成率（%）	108.2			
備考	達成率は現況値からの増加数で算出	達成度	4			

3 関連する事業名

・おかやま子ども・若者育成支援事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

県青少年総合相談センターに専任のコーディネーターを配置し、令和7年度は進路未決定のまま中途退学した生徒など63名に対して、就学や就労に向けた支援を行った。

6 今後の施策推進に向けての課題

支援を必要とする人に、確実に本事業の情報が届き、コーディネーターとつながれるようにする必要がある。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	子ども家庭課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	子ども・若者支援プログラム
施策名	【推進】子どもの貧困対策の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	子どもの貧困対策に係るネットワーク事業に参加している団体数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	129	137	145	153
現況値	113団体	実績値	92			
目標値	153団体	達成率（%）	71.3			
備考		達成度	2			

3 関連する事業名

・子どもの居場所づくり支援事業
・全県版おかやま子ども支援ネットワーク事業

4 施策達成レベル

2.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

子どもの居場所アドバイザーによる助言や居場所の立ち上げに必要な経費の補助を行うことで、新たな子どもの居場所の開設を支援した。
また、子どもの居場所を運営する民間団体間のネットワークを形成し、情報共有や関係機関との連携等を図ることにより、ネットワーク加入団体の運営体力の強化等に繋げることができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

子どもの居場所については、地域間での偏在があるため、困難な状況にある子どもがどこに住んでいても適切な支援を受けられる体制づくりを推進していく必要がある。
また、子どもの居場所を運営している民間団体は、運営や人材確保に苦慮している場合が多いことから、子どもの居場所の持続可能な仕組みづくりや運営体力の強化、対応力の向上が必要である。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	子ども家庭課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	子ども・若者支援プログラム
施策名	【推進】子ども虐待防止のさらなる強化

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	こども家庭ソーシャルワーカーの認定資格取得者数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	3	6	9	12
現況値	－	実績値	3			
目標値	12人	達成率（%）	100.0			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・児童虐待防止対策推進事業
・児童虐待防止対策支援事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

こども家庭ソーシャルワーカーの資格取得については、資格を取得した職員のみのスキル向上ではなく、研修の復命や資格取得で得た知識やスキルを使い業務を行う姿をほかの職員も見ることで、最新の児童福祉の知識やスキルを所内全体で共有するきっかけとなった。その他、児童相談所スーパーバイズ事業で弁護士や医師等の専門家支援を受けることで、児童相談所の対応スキルの向上が見込める。また、広報啓発活動にて、地域の児童虐待への関心は高まっている。

6 今後の施策推進に向けての課題

児童虐待対応件数が高止まりの状態であり、DV、貧困、障害等多様な課題が背景にあるため、こども家庭ソーシャルワーカーの認定資格取得等を通じて、引き続き職員の専門性を高めていく必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	子ども家庭課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	子ども・若者支援プログラム
施策名	【推進】社会的養育の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	里親等委託率	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	42.0	46.0	50.0	54.0
現況値	33.4%	実績値	43.9			
目標値	54.0%	達成率（%）	104.5			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・里親養育包括支援事業
・社会的養護自立支援拠点事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

県内の3児童相談所の里親養育支援児童福祉司及び委託調整補助員を中心として、児童養護施設等の里親支援専門相談員、里親会と連携し、里親委託を総合的に推進した。また、里親制度の普及啓発のための出前講座や里親フォーラムの実施、里親制度ポータルサイト開設等を実施したが、里親の高齢化や病気等によって養育里親登録数が4組減少した。里親等委託率は43.9%であった。

6 今後の施策推進に向けての課題

里親委託の推進に当たっては、様々な子どものニーズに対応できるよう、委託後の手厚いフォロー体制を充実させる必要がある。また、研修の実施等を通じて里親の養育能力の向上を支援するとともに、幅広い市町村で多くの里親に登録してもらうために、普及啓発活動を通じて里親制度の周知を図るとともに、社会的養育に理解ある方へのリクルート活動が必要である。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	障害福祉課

重点戦略	Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造
戦略プログラム	子ども・若者支援プログラム
施策名	【推進】障害のある子どもへの支援

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	就学前後の移行期における発達支援の情報連携を運用している市町村数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	16	17	18	19
現況値	15市町村	実績値	16			
目標値	19市町村	達成率（%）	100.0			
備考	達成率は現況値からの増加数で算出	達成度	4			

3 関連する事業名

・学齢期支援体制整備事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

就学前後の移行期における発達支援の情報連携を運用する市町村数は目標通りとなり、発達障害のある子どもへの市町村支援体制の構築を継続的に進めることができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

就学前後の移行期における発達支援の情報連携の運用については、発達障害のある子どもの早期からの支援に資するよう、引き続き市町村の支援体制の充実を図っていく必要がある。